

自治会や自主防災組織への高い期待値

活動実態の把握に課題

川越市地域防災計画では、自治会に対し、市が実施するさまざまな応急対策の協力を、自主防災組織には、安否確認や避難所運営等の応急対策を役割として分担しています。しかし、災害時にこれだけの役割を担うことが本当にできるのか、その準備が本当に整っていると市は考えているのかを問いました。

各組織の現状把握について市は、「避難訓練の実施、防災資器材等の有無については県の調査を通じて確認している」と答え、実施項目の把握に留まっていることが分かりました。各組織によって活動内容には差があり、理解にも差があることが予想される中、先の役割について、市からの協力依頼等はされているのかも確認しましたが、「理解して頂いているものと考え、特段の協力依頼はしていない」との答えでした。

地域防災計画が絵に描いた餅にならないよう、市は自治会や自主防災組織の活動実態を把握し、アドバイス等を行える体制が望ましいと訴えました。



来年度に向け提言・施策要望を提出

本年度も令和5年度に向け、会派「政晴会」としての施策提言や要望を、市長に提出しました。

コロナ対策、アフターコロナに向けた取り組みはもとより、行財政運営の健全化や人材育成、経営戦略的な視点を持った市政運営を求めました。そして、本年100周年を迎えた本市が、新たな100年を見据え、予算措置の有無に関わらず、今後のまちづくりの方向性を提示していくことが重要と訴えました。

これからも政晴会は、本質を見つめ政策本位で活動します。

政晴会は国政政党に属さない6人の議員による議会内会派です



倉嶋議員 小野澤議員 矢部議員 市長 川口啓介 明ヶ戸議員 樋口議員

1年間、副議長を務めさせて頂きました

令和3年6月に選出されてから約1年間、副議長職を務めさせて頂きました。前半は新型コロナウイルスの影響で、対外的な公務の多くは中止やオンラインでの開催となりました。今年に入りようやく、イベントや県内外の会議等も開催されるようになりましたが、年間を通じてコロナの現状報告を受け、議会対応を考えることが中心であったように感じています。

この貴重な経験を今後の議員活動に生かしてまいります。



再開

第54回 川口けいすけ議会報告会

日時：11月27日(日) 13:30~16:30 (新型コロナウイルスまん延防止措置、緊急事態宣言発出時は中止)

場所：東部地域ふれあいセンター会議室 電話 049-235-1834

内容：議会報告、皆様からのご意見ご質問、その他。

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていけるための活動の1つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーをご希望の場合はお届けします。ホームページでも見る事ができます。 [川口けいすけ] で検索！



この紙面の配布にご協力いただける方は、下記までご連絡
いただければ幸いです(範囲・枚数は出来る限りで結構です)。

E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com TEL 080-3025-5776

